

1. 基礎情報

自治体名	福井県	
部署名	産業労働部国際経済課	
電話番号	0776-20-0752	
メールアドレス (※は#に変換してください)	kokusai	* pref.fukui.lg.jp
ホームページ	https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kokusai/index.html	



ふくい外国人コミュニティリーダー研修会の様子

在留外国人数	令和2年12月末現在	15,713	人	住民基本台帳人口に占める割合	2.1	%			
うち、在留資格別上位3種類の人数及び在留資格名	1位 (技能実習)	4,384	人	2位 (永住者)	3,874	人	3位 (定住者)	2,669	人
うち、国籍別上位3ヶ国の人数及び国籍名	1位 (ブラジル)	4,182	人	2位 (ベトナム)	3,069	人	3位 (中国)	2,680	人

2. 多文化共生に関する活発な取組や、独自性・先進性のある取組の内容

大分類	意識啓発と社会参画支援	
小分類	外国人住民の社会参画支援	
取組のポイント	地域と外国人をつなぐパイプ役「ふくい外国人コミュニティリーダー」を委嘱	
具体的な取組内容	<p>令和2年度から県内在住の14カ国・地域出身の32名を「ふくい外国人コミュニティリーダー」に委嘱。3年間で60名の委嘱を目指している。</p> <p>[SNSを使った情報発信] ・SNSを活用し、県国際交流協会のSNS上に投稿した情報の各リーダーの母国語への翻訳や投稿のシェアにより、リアルタイムでの情報発信を実施</p> <p>[リーダー同士の新たなネットワークの醸成] ・研修会や日々のやりとりのなかで、これまで繋がりのなかったリーダー同士のネットワークが構築され、リーダー間での情報交換も活発に行われるなど、より大きなネットワークを醸成</p> <p>[外国人住民の安心感と地域活動への参画意識の醸成] ・SNS等の情報網を通じ、新型コロナウイルス感染症や災害に関する情報など、外国人に届きにくい情報がきめ細かく伝達されるため、外国人住民の安心に繋がっている。</p> <p>・令和3年1月の大雪の際、勝山市在住のリーダーが中心となって、同市内で勤務する中国人技能実習生17名が小学校の通学路の除雪を行い小学生から感謝の手紙を送られた。外国人が自ら地域社会の担い手として地域活動に積極的に参加する機運が生まれている。</p>	

大分類	コミュニケーション支援	
小分類	行政・生活情報の多言語化、相談体制の整備	
取組のポイント	16言語での相談対応	
具体的な取組内容	<p>[ふくい外国人相談センターの設置運営] 生活に関する様々な情報提供や適切な相談場所への取り次ぎを行う総合相談窓口として令和元年9月1日に開所(福井市と敦賀市の2カ所)</p> <p>通訳対応言語: テレビ電話通訳13言語、電話通訳16言語(福井市には曜日により英語、ポルトガル語、ベトナム語、中国語の通訳も対応)</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、当該感染症に関する相談受付も開始</p> <p>・感染の疑いの場合には、グループ電話通訳機能にて、受診・相談センターと相談者との間の通訳支援を実施</p> <p>・無料行政書士相談会: 毎月第1土曜日(福井市)</p> <p>・無料法律相談会: 福井市では毎月第3土曜日、敦賀市では随時、県内全域向けの出張・リモート相談会も月1回開催</p>	

2. 多文化共生に関する活発な取組や、独自性・先進性のある取組の内容

大分類	生活支援	
小分類	災害時の支援体制の整備	
	取組のポイント	多言語防災カードの配布
具体的な取組内容	<p>[多言語防災カードの作成配布]</p> <p>令和元年度に2種類作成(①日本語・英語・ポルトガル語併記版、②日本語・中国語(簡体字)・ベトナム語併記版)、随時増刷</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震などの災害時にどのように行動すればよいか、どこで災害情報が入手できるか、非常持ち出し品などを、イラストを多く使って説明 ・日頃から財布などに入れて携行できるように折り畳み式名刺サイズ ・非常時、電化製品やスマートフォン等が使用できないことを想定して、紙ベースで作成し、長期間の携帯に耐えられるよう、水に強く破れにくい紙を使用 	